

## 東海支部 第100回塑性加工懇談会

## 「スマートマニュファクチャリング現場実装の実際」

&lt;対面+Web (ハイブリッド開催)&gt;

日 時：2026年3月13日(金) 13:30~17:00

会 場：名城大学天白キャンパス研究実験棟 2-261 室

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口 1-501

交 通：地下鉄鶴舞線「塩釜口」下車，1番出口より5分

主 催：日本塑性加工学会 東海支部

協 賛：軽金属学会，精密工学会，日本機械学会，日本金属学会，日本鉄鋼協会の各東海支部，自動車技術会中部支部，型技術協会，日本鍛造協会

趣 旨：近年，塑性加工プロセスにおいて，不良品の発生防止や金型の突発的な異常検知，さらには兆候管理の重要性が急速に高まっています。これに伴い，センシングツールや無線通信機器，IoT 技術，および各種検知技術の発展が進み，現場で利用可能な製品・ソリューションも増えています。本懇談会では，これらのツールを実金型で検証した最新事例，生産現場での応用事例，さらにスマートモニタリング技術の研究事例を紹介し，また，現場適用におけるニーズと技術的課題を共有し，今後の発展と将来展望について議論します。

内 容：開会の挨拶 (13:30~13:35)

東海支部主査 早川 邦夫君

(1) 「スマートマニュファクチャリングに向けたプレス加工のIoT, DX 取組み」 (13:35~14:15)

東京都立大学 楊 明君

(2) 「鍛造金型のDXがもたらす新しい可能性」 (14:15~14:55)

株YGソリューションズ 金 秀英君

&lt;休 憩&gt; (14:55~15:10)

(3) 「成形荷重データの新しい表現方法から見えたワレ発生の予兆」 (15:10~15:50)

榎アデック 久野 拓律君

(4) 「地域連携スマート金型技術研究センターにおけるスマートモニタリング技術の研究事例」 (15:50~16:30)

岐阜大学スマート金型開発拠点事業 吉田 佳典君

(5) 総合討論 (16:30~17:00)

定 員：対面参加40名 (web参加は定員設定なし)

参加費：(消費税10%込み) 会員(協賛学協会含む)：5,000円，web参加7,500円，非会員：8,000円，web参加12,000円。学生会員は無料，非会員の学生は半額です。

申込方法：E-mailにて「東海支部第100回塑性加工懇談会申込み」と題記し，(1)氏名，(2)勤務先(名称・部課名)，(3)通信先(住所，電話，E-mail)，(4)会員資格(所属学協会および会員種別・番号)，(5)参加方法(対面/web)を明記して，下記までお申し込みください。

※ 参加費は参加券・請求書を受領後に下記へ振込みにてご送金ください。請求書受領後の返金はありません。

申込締切：2026年2月25日(水)

申込先：日本塑性加工学会東海支部

庶務幹事：吉川泰晴(名城大学) 宛

電話：052-838-2161 E-mail: tokai@jstp.or.jp

振込先：三菱UFJ銀行 金山支店

口座番号：(普通) 0008932

口座名義：日本塑性加工学会 東海支部

懇談会  
T=0  
ご招待  
(おまけ)